

TCDN 東海キリスト者災害ネット 2020 年度総会議事録

日時： 2020年7月16日(木) 14:00~16:40

場所：日本基督教団名古屋教会 2階礼拝堂 及び オンライン (Zoom)

会場出席者： 松浦 剛師、石田聖実師、川本泰彦師、草地大作師、田口博之師、鈴木直哉師、柳本秀良師、
近藤健二師、磯村美保子姉、石橋 憲兄、中村 隆兄、湧井規子姉、加藤明宏兄、河野勇也兄、
牧野愛子姉

Zoom 出席者：斎藤丈夫師、西川幸作師、近藤高史兄、羽鳥頼和兄、関なおみ師

出席者 20 名 (内：委員等 12 名)

第一部 講演と分かち合い

1. ご挨拶 ~東海キリスト者災害ネット総会に際して~ TCDN 代表 松浦 剛 別紙①
来場 災害ネットにつながる意義。3点 別紙参照
2. 奨励 川本泰彦 TCDN 委員 (神の家族クリスチャンライフ)
新改訳聖書へブル人への手紙 12 章 28 節引用。
東海豪雨(2000)、同時多発テロ(2001)、東日本大震災(2011)で様々な経験。
揺り動かされる地に住んでいながら揺れ動かないみ国が与えられている私たち。
天国では「災害ネット」は必要ないが、この世では自然災害に備えることは重要。
TCDN の活動を通してみ国を待ち望み、キリストの再臨に備えるのはもっと重要である。
つながることの大切さ。災害のために備える神の愛。 祈禱。
3. 災害支援報告「熊本地震 2016 災害支援からの学び」 名古屋 YMCA 中村隆総主事 (TCDN 委員) 投影②
始めに結論。災害活動はその時その時によって違うということ。
4 月 14 日地震発生。YMCA が公的避難所として熊本地震の時認定され 4 月 21 日支援物資を積んで出
発。5 月 8 日から中村氏入所。地震発生から 5 日間は命を守るための活動。自衛隊など災害支援プロ
と活動。さまざまなボランティア(2,200 名)が来たら選別作業をする。
その後、避難者が自ら避難所を運営するよう促す。
避難物資は遠方の方が送ったものは到着時点で不要になることが多い。必要な人に必要な時に届ける
難しさ。
野口 健が作ったテント村は猛暑と突風で困難。有名タレントたちが来るのは迷惑だが励ましにはな
る。状況によって支援が支援にならないことがある。報道陣が一番迷惑。
「行ってあなたがたも同じようにしなさい」良きサマリア人のたとえ。経験を偉そうに語ってもその
時によって違う。ひとりひとりに寄り添っていくことが大切である。
4. 出席者・出席団体自己紹介、新規加盟団体紹介 15 名+Zoom 参加 5 名
いのちの電話 加藤明宏兄のアピール 賛助会員へのお誘い。電話してくる 15%が自殺願望。
他に自分の悩みを聞いてほしい。36 年目の活動をしている。

第二部 TCDN2020 年度総会

1. 総会議長・書記の選出 議長 石橋 憲 書記 牧野愛子
2. 総会議事進行の確認（運営規約・出席者数など） 可決
3. TCDN2019 年度活動報告と決算報告、会計監査報告 承認 別紙②
4. 2020 年度活動計画と予算計画 別紙③
 - ・柳本師から質問を受け「委員会」「運営会議」「ミーティング」など検討する。委員以外も参加し意見を言うので。 承認
 - ・事務局の新たな人材が必要。現在、委員ではない石橋と牧野が担っている。
 - ・鈴木師 活動の第一はまずネットワーク作り。交通費、活動費がゼロなので今後の災害のため予算計上した方が良いのでは？
 - ・草地師 ネットワークを担う団体として災害時現地まで物資を届ける活動もするのか、またはネットワークとして連絡だけするのか。
現地で動いてくれる人に交通費を出すなど、具体的な方法を示したい。
災害が起きたとき支援するならこの予算では 2, 3 日で不足。ネットワークとしてだけならこのままで良いが。
→ 大災害の情報を共有しての TCDN であり活動を支えるネットワークなので経済的な支援はできない。
ほとんどの団体が災害後に発足しているが、TCDN は災害前に発足した。
 - ・近藤兄(Zoom)草地先生の意見は大切だ。現在九州の豪雨災害はコロナ後の大規模災害で、行政が県内のみでの活動としていて人手不足。外部から人が来られない状況。クリスチャンとしての働きを検討していく必要がある。
 - ・湧井姉 動かざるを得なくなる状況下、教会だけでなく地域を視野に入れる。
活動計画の中に「活動計画を模索する」を入れてほしい。
 - ・中村兄 現在の活動と予算で我々にどこまでできるのか。
 - ・田口師 4 番のままで良いと思う。 → TCDN の働きはこのまま継続。
 - ・柳本師 災害活動費がゼロは災害が起きたとき何もしないということか。
→ 大災害が起きたとき初期に動く金額は 10 万円とみる。
 - ・石田師 予備費として 5 万円計上してはどうか。
 - ・柳本師 予備費ではなく災害活動費に。
 - ・湧井姉 残高ではなく災害対策費としては。
→ 交通費を削除、災害活動費 50,000 円、予備費 45,331 円に修正。
賛成多数により承認。
5. 任期満了に伴う委員再任の件 7 名に関して再任。 承認
6. 運営規約改定案(柳本師が作成) 継続審議 別紙④
 - 湧井 改定案感謝。位置付けを確認したい。事務局があるので書記、会計が事務局となるのか。
→ 事務局の立ち位置を再度検討する。
 - 柳本 次の委員会に委ねることにすれば良い。
→ 改訂案を承認していただき、次回の委員会に付託する。
 - 田口師 発足して 2 年、石橋兄がすべてを担っているのは大変。
→ 5 条、7 条が規約改定のポイント。総会ではなく委員会で検討し、規約改定を諮るのが良いのではないか。 →→ 継続審議とする。

第三部 意見交換諸報告の場

1. 7/8 発生の岐阜地方豪雨災害被災地報告 齋藤丈夫師 画面共有

Zoom で説明。災害物資輸送。社会福祉協議会がボランティアを下呂市民に限ったが
関キリスト教会の橋谷牧師の協力を得て行って来た。小さな被害地域(水の通り道)が点在。
下呂は被災していないが「下呂」というだけで被災のイメージあり温泉に客が来ない。
県外、名古屋からの支援はコロナの影響があり岐阜県内の牧師の協力を得たい。
西川師(岐阜県)が高山・奥飛騨温泉郷の被害を紹介。具体的な支援はまだだが祈りに覚える。

2. 1月の三重県南部での災害セミナー三重報告(1/23) 近藤健二師 投影⑤

紀勢チャペルを会場とした。災害時、この教会は中心として働ける。アクセスが良いこと、
近所の理解がある、泊まる場所が多数、働ける人が存在、津波が来ない。
災害が起こる前に何かする。荒廃する南部の教会の生き残りのために教会の協力と一致を願う。

3. 超教派ネットワーク団体との協力について

草地師 Act alliance Japan forum の紹介。パンフ配布。

羽鳥師(石橋)昨年発足したキリスト全国災害ネット(全キ災)の紹介。

九州豪雨災害を受けての九キ災の活動の紹介。

4. その他報告

閉会祈祷 松浦師

次回委員会 2020年11月5日(木) 10:00-12:00

2021年度総会 未定(2021年7月頃)